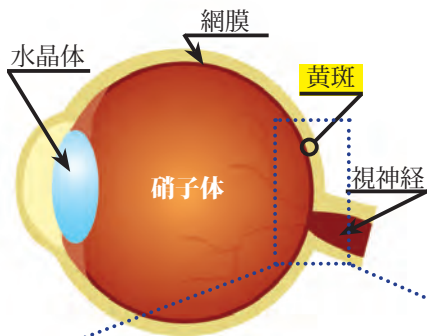


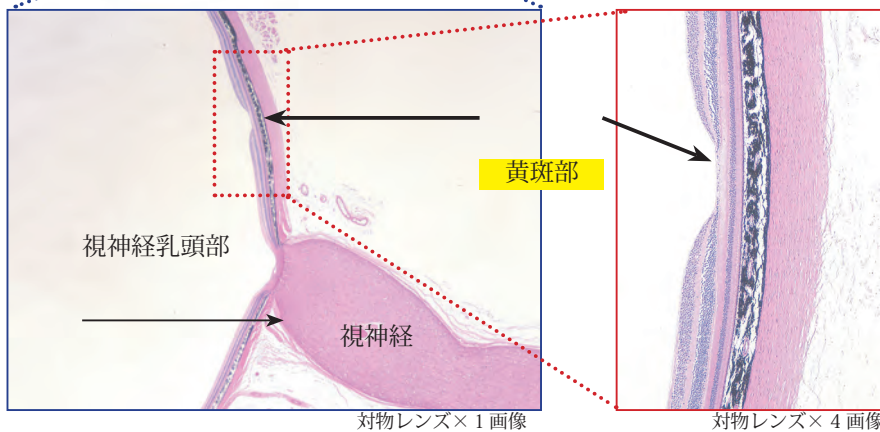
★ 眼球黄斑部 - 視神経標本作製



「眼底黄斑」部（左図：黄斑）とは、目の「網膜中心部で視細胞が密集している場所」の名称です。

この黄斑部の働きによって視力が決まるという「物を見る」ために重要な場所です。

病理学的には、眼底部、主に網膜の変化を観察する（刺激性試験）を目的とする際に、黄斑部 - 視神経を含めた断面を標本化してほしいという依頼があります。



各種病態により、黄斑部周囲の異常所見（浮腫、肥厚、変形等）が発生するとされています。

【 受託対象動物 】 サル

【 固定方法 】 Davidson 液 組成： 95% エタノール 75 ml ホルムアルデヒド 50ml
 酢酸 25ml 精製水 50ml

固定方法： ① 眼球摘出後、割を入れず Davidson 液に浸漬固定。

② 固定浸漬時間は 24 時間（過固定となるとアーチファクトの要因になります）。

▷ 固定開始 4～8 時間後に標本作製に関わらない部位をカット除去し、固定液が内部に入るようにして下さい（眼球全体を固定する目的です）。

▷ 網膜付近まで大きくカットしてしまったり、物理的な圧力で眼球を変形させてしまうと網膜の剥がれが発生する可能性が高くなりますので作業される際はご注意ください。

③ 24 時間固定後に 10% 中緩衝性ホルマリン溶液に浸漬。可能であれば 3 時間後に新しい中性緩衝ホルマリン溶液に浸漬して当社に送付ください。

【 納 品 】 ① 作製包埋ブロック
 ② HE 染色標本 1 枚

<注意事項>

- ・黄斑が不明瞭な場合：網膜の萎縮や他網膜変化が強い場合、あるいは解剖により網膜剥離や変形を生じている検体は黄斑部が不明瞭となります。その場合は、視神経乳頭部と黄斑部であろう箇所の標本作製します。追加での、深切り薄切操作は有償オプションで受託可能です。
- ・アーチファクト：眼球標本は、固定や解剖技術の影響を受けやすい組織ですので、解剖、固定の際はご注意ください。

株式会社 新組織科学研究所

<http://www.hslabo.co.jp/>

ご注意：

本案内のサービスおよび装置仕様は、サービス受託の際に変更される場合があります。

詳しくは、お問い合わせいただくか、当社 HP 情報にてご確認ください。